

秋の陽だより

練馬区立光が丘秋の陽小学校

練馬区光が丘2-1-1
TEL 3976-6331
FAX 5383-3595

第61号



平成27年3月20日

平成26年度『学校経営・教育活動評価』の結果報告

校長 関川 健

今年度も本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。

教職員、児童、そして保護者の皆様にもご協力いただいた学校評価アンケートの結果をお知らせいたします。このアンケート結果は学校評議員会でも報告し、学校評議員の皆様からもご意見をいただきました。これを平成27年度の教育活動に活かし、さらに充実させてまいります。

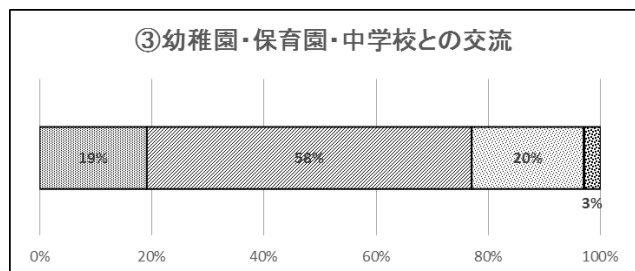
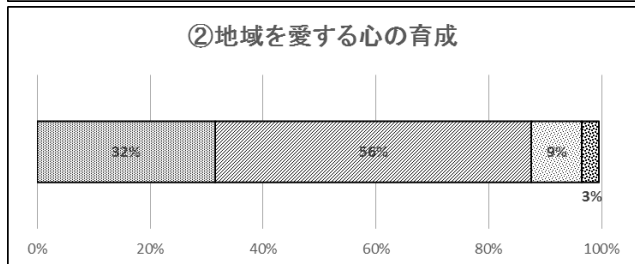
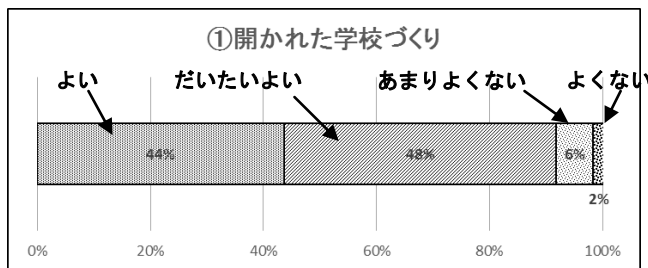
1 回収数

児童数 425名 保護者数 365名
教職員 19名

2 アンケート結果と考察

【保護者・学校評議員による評価】

< I 「家庭・地域と連携して教育を推進する学校」について >



いただいたご意見・提言の
主なものをグラフ右側に掲
載しています。

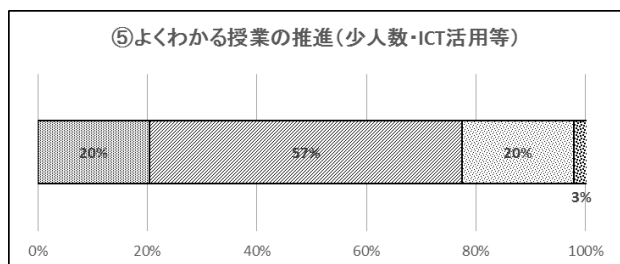
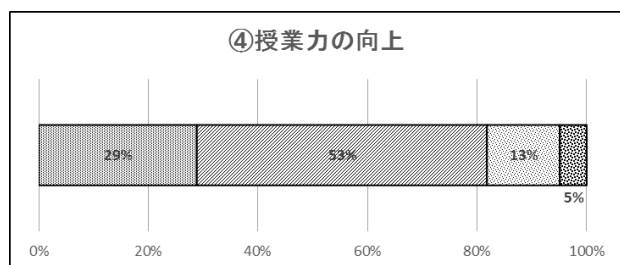
- ・ホームページ更新をこまめに行っている。スピードを感じる。
- ・学年便り、行事のお知らせ等、わかりやすく、工夫が感じられてよい。
- ・学校公開はいつも楽しく参加している。
- ・もっと保護者に目を向け足を運んでもらえるような学校にしてほしい。
- ・保護者の消極性が目立つように思う。
- ・積極的に進めていると思う。
- ・学校、保護者、地域との関わり、児童への参加の働きかけなどはよく努力していると思う。
- ・老人ホームの訪問などを行って、お年寄りとふれ合うのもいいと思う。
- ・中学生、高校生とも交流があるとよい。
- ・中学校との連携の様子があまりよくわからない。小中一貫の流れがあるので、連携があるとよい。
- ・近隣小学校との交流や連携はあまりないように思える。

①学校公開、保護者会、個人面談、学校からの積極的な情報発信がさらに充実できるように、内容や実施方法を工夫して、4の評価の割合の増加を図ります。夏休み前の面談は、全学年とも三者面談にします。

②地域の方々に大変よく協力していただき、充実した行事を催して下さっているので、さらに児童に対して、地域の方々との交流の大切さを啓発を図っていきます。

③幼稚園、保育園との交流は、1年生が1～2月を中心に行っています。HPの学校日記をご覧ください。また、平成27年度から、練馬区小中一貫教育研究グループの指定を受け、光が丘第四中学校との小中一貫教育に取り組みます。授業研究や児童・生徒の交流活動を推進してまいります。

<Ⅱ「確かな学力の向上を図る学校」について>

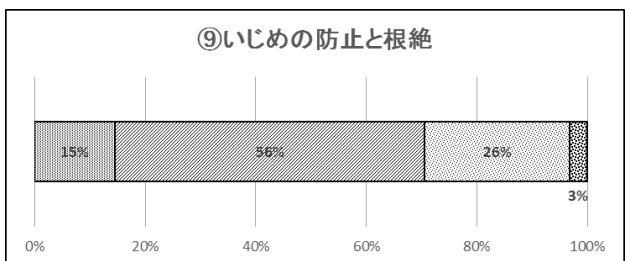
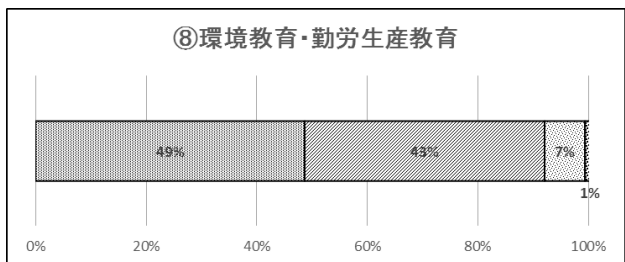
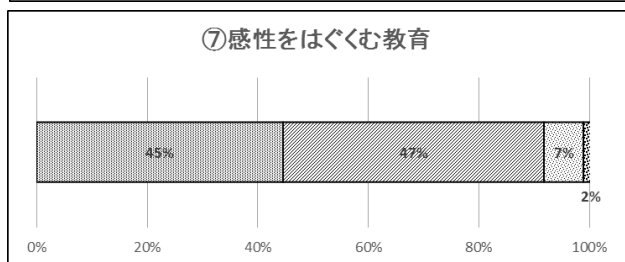
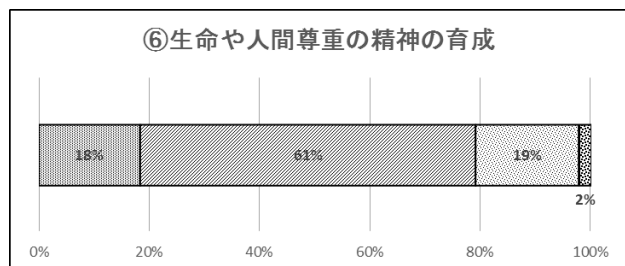


- ・特に目立たなくても、熱心な保護者にはわかる。
- ・創意工夫している教師としていない教師の差が激しいと思う。
- ・今年度のサマースクールは多彩でよかった。夏休みに学校図書館を開放してほしい。
- ・夏休み、冬休みを利用して、理科実験に参加できる機会があればよいと思う。
- ・子供たちが授業に気持ちが向けられるよう、興味をもててわかりやすい授業、教材の工夫をお願いしたい。
- ・子供たちが夢中になるような工夫をしてもらえると、子供たちは集中すると思う。
- ・5、6年学力調査の結果を見て少し不安になった。学力向上のための指導をお願いしたい。
- ・子供たちの学力差が目立つ。都の平均より学力が劣っている事実は深刻だと思う。

④算数科、道徳を中心とした校内研究と光四中との小中一貫教育研究校としての研究を関連付けて、中学校教員との連携も図りながら教科の専門性を高め、授業構想力、教材活用力、発問・学習規律などの指導力を向上させ、教員の授業力向上を図ります。

⑤少人数指導やチームティーチングをさらに充実させ、個に応じた指導やきめ細やかな指導を行い、学力向上を図ります。3年生以上を対象に補充学習指導のための放課後学習教室を行い、基礎・基本の定着を図ります。保護者の皆様と連携して家庭学習を推進し、児童に学習習慣をつけられるようにします。

<Ⅲ「豊かな心をはぐくむ学校」について>



《⑥⑦について》

- ・人権・道徳教育、挨拶、言葉遣いは、家庭でも指導すべきものだと思うので、学校と家庭が連携して行えるとうい。
- ・子供たちは挨拶できているが、先生方から心がけることが大切だと思う。
- ・言葉では、「うざい」「死ぬ」「ババア」等使っている子供がいる。
- ・感性をはぐくむことに努力していると思う。さらなる工夫を期待したい。
- ・学芸会で、合唱・合奏、音楽コンクール、学年の枠を超えたブラスバンドなどは行わないのでしょうか。

《⑧について》

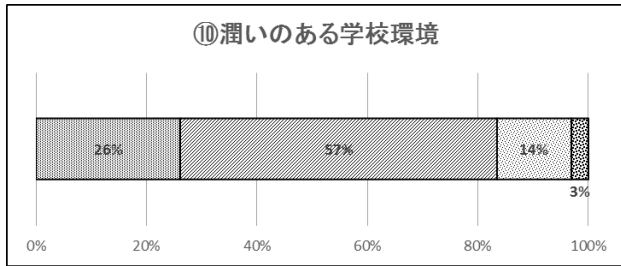
- ・生きていくために必要な社会性、人生を豊かにする楽しみを多方面から経験できるのはとても良い。
- ・将来について、仕事や働くことについての教育も力を入れるとういと思う。

《⑨について》

- ・先生方の努力が感じられる。
- ・いじめが発生しないクラス運営に努力してほしい。
- ・いじめは100%いじめの側が悪いという認識を先生方にしっかりもってほしい。

《⑩について》

- ・ギャラリーや掲示版の児童作品の展示の配置が良く、活気がある。
- ・トイレ清掃が不十分と思う。



⑥人権教育を柱とした道徳教育を推進し、いじめ防止や人間尊重精神の育成を図ります。あいさつ運動を毎月1回実施し、進んであいさつができる子供を育てます。縦割り班活動の充実を図り、異年齢集団の中で互いを思いやる心や自分より弱い者にやさしく接する心を育てます。ふれあい月間などの豊かな心を育てる取組内容をさらに工夫し、充実させてまいります。

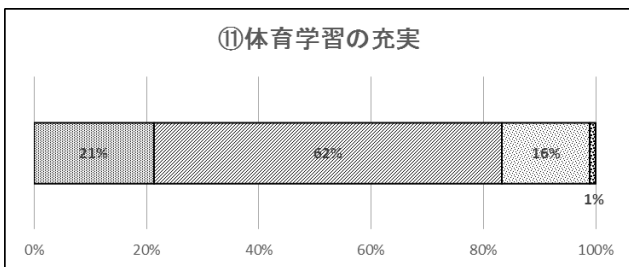
⑦朝読書、読書旬間、保護者ボランティアのご協力による定期的な読み聞かせ、お話会などを充実させ、子供たちの読書活動を推進してまいります。月1回の音楽朝会の内容を工夫し、歌声を響かせ合ったり、互いの演奏を聴き合ったりする活動をさらに充実させます。

⑧米や野菜の生産体験活動は、地域の協力者の皆様の助言を取り入れながら、子供たち自らが主体的に実践できるように改善してまいります。

⑨学校いじめ防止基本計画に基づき、全教育活動において人権教育を柱とした心の教育の充実を図り、自他の生命を尊重し、互いを思いやる心を育ててまいります。

⑩ギャラリーに児童の図工などの作品を計画的に展示し、鑑賞し合う機会を増やします。月曜日も掃除を行い、いつも学校をきれいにしようとする気持ちを育てます。

<Ⅳ「健康・体力の向上を図り、安全を守る学校」について>



・体育授業の工夫改善と充実の具体例がないため判断できない。

・持久走やなわとびなどの体力づくりの取組をしてよく努力している。

・体力向上については親として常に考えているが、丈夫な身体づくりを学校と一緒に考えていきたい。

・習い事でスポーツをしていても、自主的に外遊びをしている子は少ないように思う。先生方の取組に感謝している。

・体力テストで秋の陽小として良くない種目を改善するための取組を知りたい。

・走るという基本をもう少し取り入れた方がよい。

・マラソン大会がなくなったのは残念。

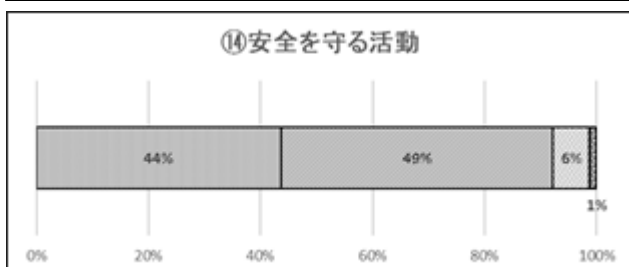
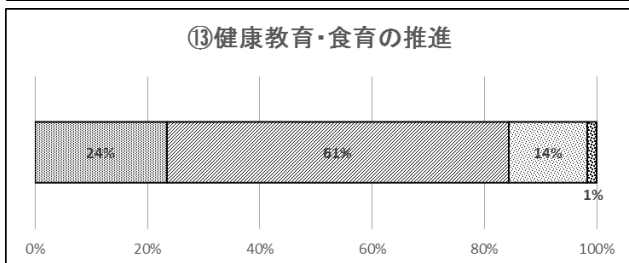
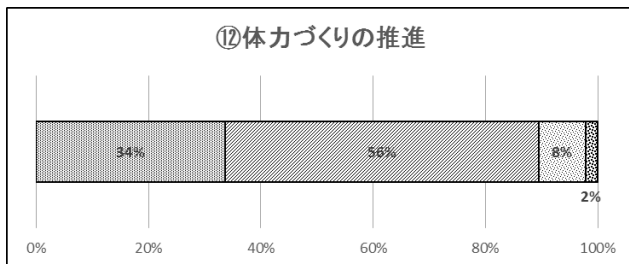
・安心・安全、おいしい給食が家庭でも話題になり、食育につながっている。

・給食のおかげで食べられないものがほとんどなくなった。

・不審者情報メールを配信後、その不審者は捕まったのか、事後報告がないことに不安を感じている。

・安心・安全については地域の力を借りることも必要。

・地域の防災訓練に大勢の子供が参加できるように検討してほしい。



⑪教員の体育の実技研修を積極的に行い、体育授業の改善を図ります。

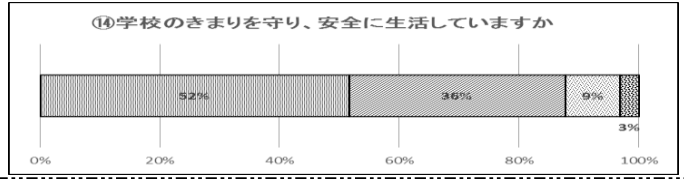
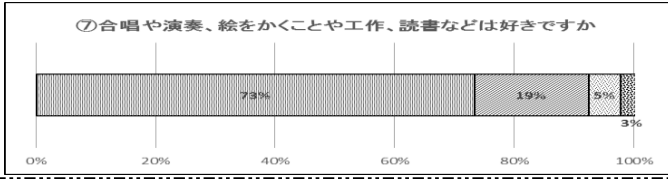
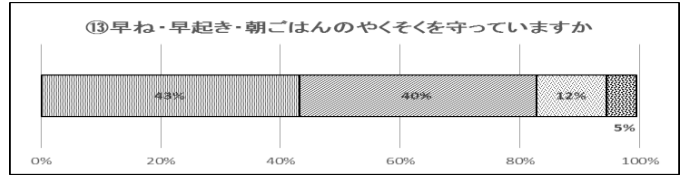
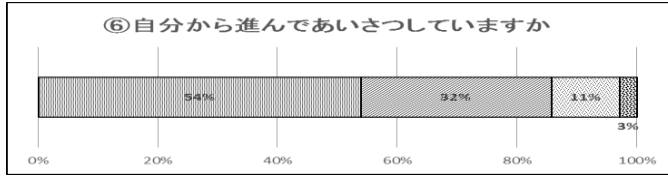
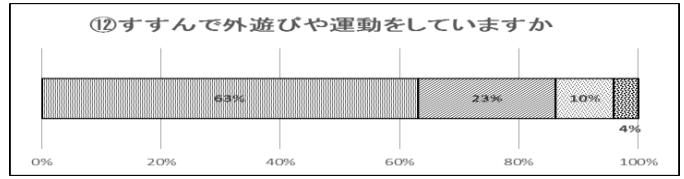
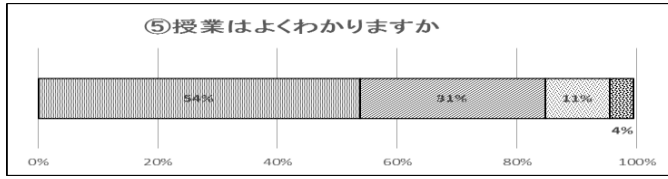
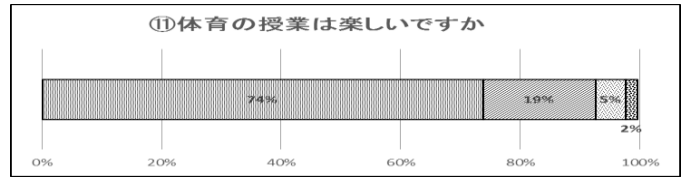
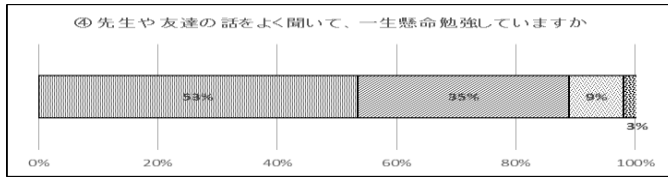
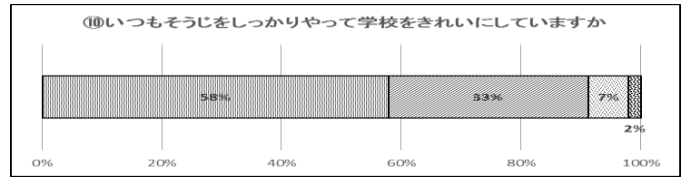
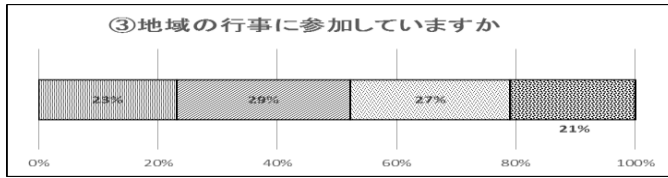
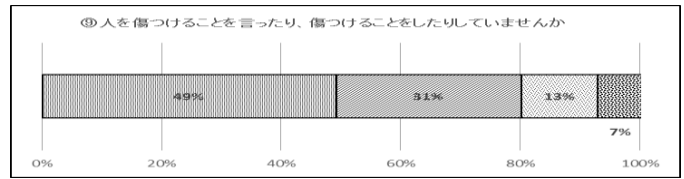
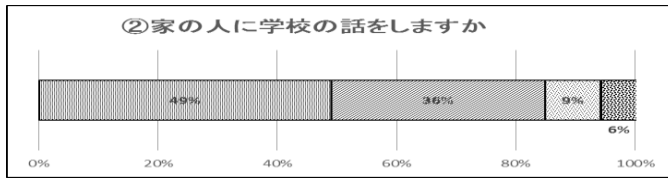
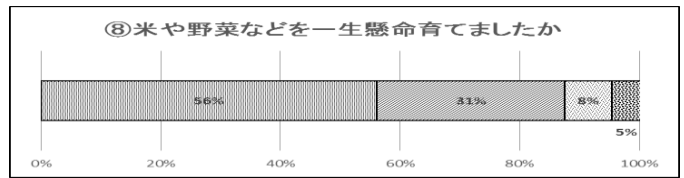
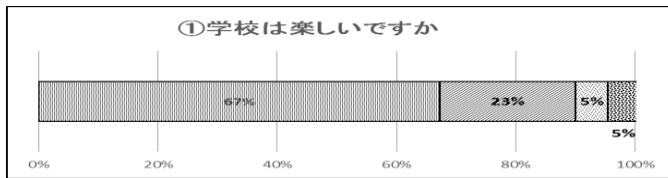
⑫体育授業や体力づくりの取組を一層工夫し、児童に自分から進んで健康や体力づくりをしようとする意欲や実践力をさらに高めてまいります。持久走旬間を1

学期と2学期の2回実施します。

⑬食育年間指導計画を改善し、栄養士との連携を深め、食育のさらなる充実を図ってまいります。「早寝・早起き・朝ご飯」運動を推進します。

⑭警察や教育委員会との連携を密にし、不審者情報の詳細を入手できるように努力します。方面別一斉下校の際、保護者・地域の皆様にメール配信し、児童の安全確保のため協力をお願いしてまいります。

【児童による評価】



- ①「学校が楽しい」は90%です。この割合をさらに高められるよう、一人一人の子供たちを大切に、安心して学校生活を送れる集団、人間関係づくりを行ってまいります。
- ②子供たちが家で話したくなるような楽しく充実した教育活動の推進を目指してまいります。
- ③地域の子供としての意識をもたせられるよう、全校朝会や各学級での啓発を続けてまいります。
- ④「一生懸命勉強している」は、88%がよい評価をしています。さらに子供たちの学習意欲を高められるよう、教員の授業力を高めてまいります。
- ⑤授業が「(あまり)わからない」の15%を減らすため、授業改善を進めてまいります。
- ⑥進んであいさつができる子供たちが増えるよう、あいさつを柱にした生活指導を推進してまいります。
- ⑦感性をはぐくむ教育をさらに推進し、「とても好き」の割合を増やせるよう努力してまいります。
- ⑧より主体的な生産体験活動ができるように改善し、「とてもそう思う」の割合を増やせるようにします。
- ⑨20%の子供たちが、友達を傷つける言動をしてしまっていると自己評価しています。「思いやりの心」を育てる心の教育を推進するとともに、「いじめゼロ」の学校を目指し、全校で取り組んでまいります。
- ⑩子供たちの学校を大切にすることを高め、そうじをしっかりとできるように指導していきます。
- ⑪93%の子供たちが「体育の授業が楽しい」と思っています。
- ⑫運動や健康への関心を高めるために、啓発を続けてまいります。
- ⑬「早寝・早起き・朝ごはん」を実行できる子供100%を目指します。ご協力をお願いいたします。
- ⑭子供たちの規範意識をさらに高められるよう、「学校のやくそく」を守ることを徹底を図ります。